

## 鳥取・岡山両県を結ぶ高速道路ネットワーク等の整備に向けた共同アピール

地域主権の実現に向けて、各地域が自立的に発展していくためには、産業振興や観光振興に向けた広域的な連携や交流による、持続可能な地域基盤の創造が不可欠である。

鳥取・岡山両県においても、大山隠岐国立公園や瀬戸内海国立公園などの豊かな観光資源を結ぶ地域づくりのため、また、東アジアとの交流拡大など国際的競争力の強化のためにも、交通・物流の基盤となる高規格幹線道路、地域高規格道路の整備は喫緊の課題である。

特に、高速道路ネットワークにミッシングリンクが生じている状況は、地域経済の格差を拡大させ、また、緊急医療や災害時等の安全・安心といった地域の暮らしを脅かすなど、国家的な損失である。

これらの課題を解消する高速道路ネットワーク等を着実かつ早急に整備するため、国が責任を持って行う直轄事業の財源とともに、今年度創設された社会資本整備総合交付金を含め、国・地方を合わせて必要な道路の整備財源を確保する必要がある。

については、鳥取・岡山両県として、次の事項について、政府が取り込まれるよう強く要望する。

- 1 鳥取・岡山両県を結ぶ高速道路ネットワーク等の整備を国家戦略として最優先で早期に完成すること。
  - (1) 中国横断自動車道「姫路鳥取線」の整備促進  
西粟倉IC～大原IC間について、公表された供用予定時期である平成24年度に遅れることなく早期に完成させること。
  - (2) 中国横断自動車道「岡山米子線」の4車線化  
岡山JCT～賀陽IC間、落合JCT～蒜山IC間の4車線化を早期に完成させるとともに、残る区間についても4車線化に早期に着手すること。
  - (3) 地域高規格道路「北条湯原道路」の整備促進  
「倉吉道路」の整備促進を図るとともに、真庭市蒜山初和から真庭市蒜山下長田までを調査区間に指定すること。
- 2 国・地方を合わせて、地方が必要な道路を計画的に整備するための財源を、安定的に確保するとともに、その配分に関しては、整備が遅れた地域に配慮すること。
- 3 今後の高速道路の新たな料金制度の試行や、高速道路段階的無料化に向けた社会実験については、地域経済の活性化などの効果だけでなく、公共交通機関への影響や環境への影響などについて、適確な調査・検証を行うとともに、国の主体的な責任において、その結果を平成23年度以降の見直しに反映させること。

平成22年5月11日

鳥取県知事 平 井 伸 治

岡山県知事 石 井 正 弘